

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年4月20日(2017.4.20)

【公開番号】特開2015-229669(P2015-229669A)

【公開日】平成27年12月21日(2015.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2015-080

【出願番号】特願2014-117909(P2014-117909)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/20 (2006.01)

A 6 1 K 8/19 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/20

A 6 1 K 8/19

A 6 1 Q 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

〔成分(C)：塩酸、炭酸又は硫酸のアルカリ金属塩〕

本発明の染毛剤組成物は、成分(C)として、使用時に良好な感触を付与する観点から、塩酸、炭酸及び硫酸からなる群より選択される酸のアルカリ金属塩の少なくとも1種を0.1質量%以上8質量%以下含有する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

本発明の染毛剤組成物は、例えば、液状、乳液状、クリーム状、ゲル状、ペースト状、ムース状等の形態で用いられるものとすることができます、エアゾール形態とすることもできる。これらの場合における全組成物の粘度は、毛髪に塗布したときに液だれしにくいように調整することが望ましい。この全組成物の粘度(25)は、ヘリカルスタンド付きB型回転粘度計(モデル；デジタル粘度計TVB-10、東機産業株式会社)により、ローターT-Cを用いて10rpmで1分間回転させた後の測定値として、好ましくは2,000～200,000mPa・s、より好ましくは4,000～150,000mPa・s、更に好ましくは6,000～100,000mPa・s、更に好ましくは8,000～80,000mPa・sである。なお、二剤式又は三剤式の場合には、各剤の混合後3分経過後に測定するものとする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

(B) : カチオン界面活性剤

(C) : 塩酸、炭酸及び硫酸からなる群より選択される酸のアルカリ金属塩の少なくとも
1種 0.1質量%以上8質量%以下